○日本産ヒメハナワラビの染色体数（佐橋紀男）　Norio SAHASHI: Chromosome number of *Botrychium lunaria* from Japan

ヒメハナワラビ（*Botrychium lunaria* (L.) Sw.）の染色体数については既にヨーロッパや北アメリカから n=45 が報告されているが，日本産のものについてはこれまでに報告がなかった。今回幸いにも筆者は三科徹氏が長野県，光岳（約 2000 m）で採集されたヒメハナワラビ 3 株を入手して調べることができた。そのうち 2 株で明確に胞子母細胞の減数分裂中期で n=45 を数えた（図 1）。

材料の入手に協力して下さった三科徹氏，および御助言を仰いだ千葉大学の栗田子郎氏に感謝の意を表する次第である。

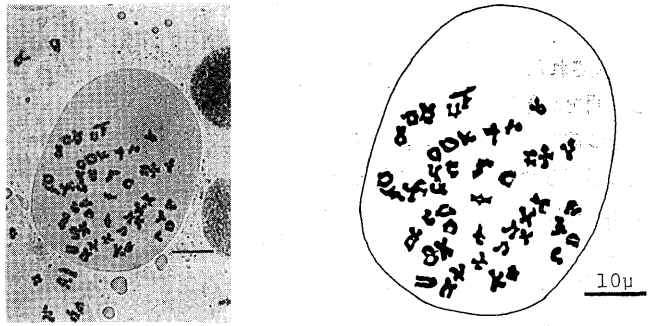

図1．ヒメハナワラビの染色体。

Chromosome number n=45 was counted by the author in a specimen of *B. lunaria* collected at Mt. Tekaridake (alt. ca. 2000 m), Nagano Pref. This is the first report of the chromosome number of *Botrychium* in Japan.

（東邦大学薬学部）

□初島住彦：**鹿児島県植物目録** 534頁，1978年11月，鹿児島植物同好会，1800円．初島氏が鹿児島農林専門学校に赴任されてから，ほぼ30年にわたって調査された結果をまとめたもので，191科，3110種のリストである。主な産地が加えてあるが，学名の ABC 順に配列されている。一昨年発行された，初島住彦・天野鉄夫の琉球植物目録（1977）とほとんど同じ形式であり，しかも奄美諸島は両方共にとり入れているので，かえって理解し易くなっている。温帯から亜熱帯にかかる地域のリストとしてまことに重要である。

（前川文夫）